

[平成17年度設置]

群馬県立県民健康科学大学

設置に係る設置計画履行状況報告書

設置者 群馬県
平成20年4月1日現在

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

群馬県

(2) 大学名

群馬県立県民健康科学大学

(3) 大学本部の位置

群馬県前橋市上沖町323-1

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
知事	(コデラヒロユキ) 小寺 弘之 (平成3年7月28日)	(オオサワマサアキ) 大澤 正明 (平成19年7月28日)	
学長	(スギモリミドリ) 杉森 みど里 (平成17年4月1日)		
看護学部 学部長	(ツルタサナエ) 鶴田 早苗 (平成17年4月1日)		
診療放射線学部 学部長	(イガラシヒトシ) 五十嵐 均 (平成17年4月1日)		

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等（看護学部）

(5) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	4年	80人	年次 人 -	320人	

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況（看護学部）

報告年度 区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	80人	(-) 80人	(-) 80人	(-) 80人	1.01倍	
志願者数	327	(-) 290	(-) 245	(-) 285		
受験者数	286	(-) 273	(-) 230	(-) 258		
合格者数	91	(-) 93	(-) 83	(-) 92		
B 入学者数	80	(-) 82	(-) 82	(-) 83		
入学定員超過率 B / A	1.00	(-) 1.02	(-) 1.02	(-) 1.03		

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況（看護学部）

報告年度 学 年	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備 考
1年次	[-] 80	[-] 82	[-] 82	[-] 83	
2年次	/	[-] 79	[-] 82	[-] 79	
3年次	/	/	[-] 78	[-] 81	
4年次	/	/	/	[-] 77	
計	[-] 80	[-] 161	[-] 242	[-] 320	

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況 (看護学部)

区分 報告年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 1 7 年度	[- -] 計 1	[- -] 計 8 0	[- - %] 1.3%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 8 0 人	
	(主な退学理由) 他の教育機関への入学		
平成 1 8 年度	[- -] 計 1	[- -] 計 1 6 2	[- - %] 0.6%
	うち平成 1 7 年度入学者 1 人	うち平成 1 7 年度 8 0 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 0 人	うち平成 1 8 年度 8 2 人	
(主な退学理由) 学生個人の心身に関する事情			
平成 1 9 年度	[- -] 計 5	[- -] 計 2 4 4	[- - %] 2.0%
	うち平成 1 7 年度入学者 1 人	うち平成 1 7 年度 8 0 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 1 人	うち平成 1 8 年度 8 2 人	
	うち平成 1 9 年度入学者 3 人	うち平成 1 9 年度 8 2 人	
(主な退学理由) 他の教育機関への入学 2、就職 2、学生個人の心身に関する事情 1			
平成 2 0 年度	[- -] 計 0	[- -] 計 3 2 7	[- - %] 0.0%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 8 0 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 0 人	うち平成 1 8 年度 8 2 人	
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 8 2 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 0 人	うち平成 2 0 年度 8 3 人	
(主な退学理由)			

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等（診療放射線学部）

(5) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
診療放射線学部 診療放射線学科 学士（放射線学）	4年	35人	- 年次人	140人	

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況（診療放射線学部）

報告年度 区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	35人	(-) 35人	(-) 35人	(-) 35人	1.02倍	
志願者数	178	(-) 113	(-) 93	(-) 113		
受験者数	159	(-) 106	(-) 86	(-) 107		
合格者数	38	(-) 38	(-) 37	(-) 36		
B 入学者数	35	(-) 37	(-) 36	(-) 36		
入学定員超過率 B / A	1.00	(-) 1.05	(-) 1.02	(-) 1.02		

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況（診療放射線学部）

報告年度 学 年	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備 考
1年次	[-] 35	[-] 37	[-] 36	[-] 36	
2年次	/	[-] 35	[-] 36	[-] 36	
3年次	/	/	[-] 35	[-] 34	
4年次	/	/	/	[-] 35	
計	[-] 35	[-] 72	[-] 107	[-] 141	

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況 (診療放射線学部)

区分 報告年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 1 7 年度	[-] 計 0	[-] 計 3 5	[- %] 0.0%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 3 5 人	
	(主な退学理由)		
平成 1 8 年度	[-] 計 1	[-] 計 7 2	[- %] 1.4%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 3 5 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 1 人	うち平成 1 8 年度 3 7 人	
	(主な退学理由) 他の教育機関への入学		
平成 1 9 年度	[-] 計 2	[-] 計 1 0 8	[- %] 1.9%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 3 5 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 2 人	うち平成 1 8 年度 3 7 人	
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 3 6 人	
(主な退学理由) 就職 2			
平成 2 0 年度	[-] 計 0	[-] 計 1 4 4	[- %] 0.0%
	うち平成 1 7 年度入学者 0 人	うち平成 1 7 年度 3 5 人	
	うち平成 1 8 年度入学者 0 人	うち平成 1 8 年度 3 7 人	
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 3 6 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 0 人	うち平成 2 0 年度 3 6 人	
(主な退学理由)			

2 授業科目の概要

< 看護学部 看護学科 >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
群馬県民の文化と生活	1	2								
芸術 (音響芸術)	1・2		2							
芸術 (造形芸術)	1・2		2							
芸術 (舞台芸術)	2 4+2		2							
異文化の理解	1・2		2							
歴史学の変化と発展	1 4+2		2							
個人と集団	1・2 4 4+2		2							
人間と職業	1・2		2							
法と正義	1 4+2		2							
倫理と道徳	1・2		2			1				
社会と経済	1・2 4 4+2		2							
心の機能と構造	1・2		2							
英語	1 4+2		2			1				
英語	1・2		2			1				
英語	2 4+2		2			1				
中国語	1・2		2							
フランス語	1・2		2							
ポルトガル語	1・2		2							
情報科学	1	2								
情報科学	1 4+2		2							
情報科学	1・2		2							
生活と科学 (人文・社会科学と生活:哲学)	1・2		2			1				
生活と科学 (人文・社会科学と生活:文学)	1・2		2							
生活と科学 (人文・社会科学と生活:政治学)	1 4+2		2							
生活と科学 (自然科学と生活:生物学)	1・2		2							
生活と科学 (自然科学と生活:化学)	1・2		2							
自然現象と科学 (自然科学の基盤:数学)	1・2 4 4+2		2							
自然現象と科学 (自然現象の基盤:物理学)	1 4+2		2							
環境科学	1・2		2			1				
スポーツ科学 (スポーツ理論)	1・2 4 4+2		1			1				
スポーツ科学 (体力づくり)	1・2		1							
スポーツ科学 (身体表現)	1・2		1							
群馬県民の生活と健康	1	2			1	1				
「環境と健康」概論	1	2			3	1				

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
「環境と健康」各論（内部環境を支える人体の構造と機能）	1	1								
「環境と健康」各論（代謝と栄養）	1	1								
「環境と健康」各論（薬理作用）	1	1								
「環境と健康」各論（病原体と免疫）	1	1			1					
人間と放射線	2・3		2							
医療画像情報解析学	2・3		2							
「人間の発達と健康」概論	1	2			6					
「人間の発達と健康」各論（導入実習）	1	2			5	7			13 12	
「人間の発達と健康」各論（母胎期）	2	1			2	1				
「人間の発達と健康」各論（乳幼児期・学童期）	2	1			1	1	1			
「人間の発達と健康」各論（思春期・青年期）	2	1			2	1				
「人間の発達と健康」各論（成人期）	2	1			3 4	3 2				
「人間の発達と健康」各論（老年期）	2	1			3	2				
「人間の発達と健康」各論（終末期）	2	1			5	1				
相互行為展開論	1	1			1		1			
生命倫理学	1	1				1				
社会制度と福祉	2	2								
生活と研究	2	1			11 10	3 4				
看護学概論	1	2			2					
看護技術学概論	1	2			2					
看護技術学各論（アセスメント技術）	2	2			1		1		2	
看護技術学各論（生活行動支援技術、生活機能維持・促進技術）	2	2			1	2			2	
看護技術学各論（治療過程支援技術、症状緩和技術）	2	2				1	2		2	
看護技術学各論（心理的支援技術、教育的支援技術）	2	2				3	2		2	
看護技術学各論（看護過程と看護理論）	2	2				1				

専門科目

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護技術学各論（実習）	2	2			3 2	3 4	12			
看護倫理学	3	1			2					
看護対象擁護論	4		1		4 3					
生涯発達看護学概論	2	2			5					
生涯発達看護学各論（母胎期）	2	2			2	1	2		3	
生涯発達看護学各論（乳幼児期・学童期）	2	2			1	1	3		3	
生涯発達看護学各論（思春期・青年期）	3	2			2	2	2 4		3	
生涯発達看護学各論（成人期）	3	2			1	3	4		3	
生涯発達看護学各論（老年期）	3	2			1	3	4		3	
生涯発達看護学各論（実習）	3~4	10			5	5	10 9			
地域健康看護学概論	2	2			1	2 3				
地域健康看護学各論（家庭環境）	3	2			1	2	3		1	
地域健康看護学各論（保健・医療・福祉施設環境）	3	2			1	3	1			
地域健康看護学各論（学習環境）	3	2			1	1	2			
地域健康看護学各論（労働環境）	3	2				1	1			
地域健康看護学各論（実習）	3~4	4			1	2	3			
機能看護学概論	2	1			3 2	1 2				
機能看護学各論（看護教育）	3	1			2 4	0 4	1			
機能看護学各論（看護管理）	3	1			1					
機能看護学各論（看護政策）	3		1			1				
機能看護学各論（専門職的機能の発達支援）	3		1		2 4	0 4	2		1	
機能看護学各論（実習）	4		2		2 4	1 2	2			
看護関連法規論	3	1			2					
看護専門職の役割と機能	3	1			1	1				

専門科目

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護専門職の役割と機能 -1(総合実習)	4		2		6	6	12			
	看護専門職の役割と機能 -2(役割移行実習)	4			2	2 4	1 2	9			
	看護学研究概論	3	1				1				
	看護学研究 (問題解決過程)	4	1			3 4	9 14	5			
	看護学研究 (EBP)	4	4			10 9	10 14	16 15			
共通専門科目	保健医療情報組織学	3	2				1				
	保健医療チーム連携論	4	1			1	1				
	保健医療チーム連携論 (実習)	4	2			3 4	10 14	18 17			
	保健医療システム開発論	4		2		1	1				
	保健医療国際連携論	3		2		1 0	1 2				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 53	科目 39	科目 1	科目 93	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

-

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

< 診療放射線学部 診療放射線学科 >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
群馬県民の文化と生活	1	2								
芸術 (音響芸術)	1・2		2							
芸術 (造形芸術)	1・2		2							
芸術 (舞台芸術)	1・2		2							
異文化の理解	1・2		2							
歴史学の変化と発展	1 4+2		2							
個人と集団	1・2 4 4+2		2							
人間と職業	1・2		2							
法と正義	1 4+2		2							
倫理と道徳	1・2		2							
社会と経済	1・2 4 4+2		2							
心の機能と構造	1・2		2							
英語	1 4+2		2							
英語	1・2		2							
英語	2 4+2		2							
中国語	1・2		2							
フランス語	1・2		2							
ポルトガル語	1・2		2							
情報科学	1	2				1		1		
情報科学	1 4+2		2			1		1		
情報科学	1・2		2			1		1		
生活と科学 (人文・社会科学と生活:哲学)	1・2		2							
生活と科学 (人文・社会科学と生活:文学)	1・2		2							
生活と科学 (人文・社会科学と生活:政治学)	1 4+2		2							
生活と科学 (自然科学と生活:生物学)	1・2		2		1					
生活と科学 (自然科学と生活:化学)	1・2		2		1					
自然現象と科学 (自然科学の基盤:数学)	1・2 4 4+2		2							
自然現象と科学 (自然現象の基盤:物理学)	1 4+2		2							
環境科学	1・2		2							
スポーツ科学 (スポーツ理論)	1・2		1							
スポーツ科学 (体力づくり)	1・2		1							
スポーツ科学 (身体表現)	1・2		1							
群馬県民の生活と健康	1		2							
「人間の発達と健康」概論	1	2								
「人間の発達と健康」各論	2	2			1					
「人間の発達と健康」各論	2	2			0 4					
「環境と健康」概論	1	2								
「環境と健康」各論 (内部環境を支える人体の構造と機能)	1	1			1					

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
「環境と健康」各論 (代謝と栄養)	1		1		1					
「環境と健康」各論 (薬理作用)	1・2 4		1							
「環境と健康」各論 (病原体と免疫)	1	1								
医療数理学	2 4	2				1				
放射線科学現象学概論	1	2			1					
放射線科学現象学各論 (放射線物理)	2 4	2			1					
放射線科学現象学各論 (放射化学)	2	2			1					
放射線科学現象学各論 (放射線生物)	2	2								
医療物理学	2	2			1					
医療電気・電子工学	1	2					1			
医療電気・電子工学実験	2		1				1			
医療機器工学	2		2				1			
医療情報科学	2	2				1	1 2			
相互行為展開論	2	1								
生命倫理学	1		1							
社会制度と福祉	2 4		2							
看護学概説	3		2							
人間と放射線	2・3 2		2		1					
科学技術と研究	1		1			1	1			
診療放射線技術学概論	1	1			1					
診療放射線技術学導入実習	1	1			1	1	2			
診療放射線技師と医療倫理	3	1				1				
診療放射線技師と人権擁護	2	1			1					
診療放射線技師と関連法規	1	1			1					
診療放射線技師の役割と機能	2	1					1			
診療放射線技術学総合演習	4		1		6	2	1			
診療放射線技術と研究	3	1			1					
診療放射線技術学研究	4	3			7	4 3	4 5			
診療画像技術学概論	1	1			1					
診療画像技術学 a	2	2				1				
診療画像技術学 b	2	2			1		1			
診療画像技術学	2	2			1					
診療画像技術学	2	2				1				
診療画像技術学実験	3	1				1	1		1	
診療画像技術学実習	4	4			2	1	2			
放射線機器工学概論	1	1				1				
放射線機器工学 (診療画像)	2	2					1			
放射線機器工学実験 a(X線、CT検査)	3	1			1		1		1	
放射線機器工学実験 b(MRI)	3	1			1		1		1	
画像解剖学	3	2			1 2					
画像診断撮像技術学 (X線、CT検査)	3	2			1	1				
画像診断撮像技術学 (MRI)	3	2			1					
医療画像情報学	2	2			1					
医療画像情報学	2	2			1	1	0 1			

専門科目

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療画像情報学演習	3		1			1	0	4		1	
医療画像情報学実験	3	1			1	1	0	4		1	
医療情報システム学	3	2				1	0	4			
医療画像情報解析学	3		2		1						
核医学検査技術学	2	2			1						
核医学検査技術学	2 3	2				1					
放射線機器工学（核医学）	2	2				1					
核医学検査技術学演習	3		1		1					1	
放射線機器工学実験（核医学）	3	1				1				1	
核医学検査技術学実習	4	2			1	1					
放射線治療技術学	2	2			1						
放射線治療技術学	3	2				1					
放射線機器工学（放射線治療）	2	2				1	1				
放射線治療技術学演習	3		1		1		1			1	
放射線機器工学実験（放射線治療）	3	1			1		1			1	
放射線腫瘍学	3		2		1						
放射線治療技術学実習	4	2				1	1				
放射線管理計測学	2	2			1						
放射線管理計測学	2	2					1				
放射線管理計測学演習	3		1		1					1	
放射線管理計測学実験	3	1			1		1			1	
保健医療情報組織学	3		2								
保健医療チーム連携論	4	1			4						
保健医療チーム連携論（実習）	4	2			1	2	3	4			
保健医療システム開発論	4	2			1		1				
保健医療国際連携論	3		2		1						

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 60	科目 49	科目 0	科目 109	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

-

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	40,739 m ²	0 m ²	0 m ²	40,739 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	13,560 m ² (13,560 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	13,560 m ² (13,560 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	11 室	22 室	23 室	1 室 (補助職員 1人)	1 室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	看護学部 看護学科		44 室					
	診療放射線学部 診療放射線学科		20 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	両学部共通	40,000 [3,200] (39,672 [2,610]) (3,830 [2,606]) (37,541 [2,596]) (36,074 [2,549]) (32,365 [2,281])	60 [14] (60 [14]) (57 [14])	(5 [3]) (1 [0])	700 (565) (552) (511) (509) (506)	1,500 (1,392) (1,335) (1,269)	78 (1) (78)	
	看護学部	12,000 [1,600] (9,110 [1,104]) (8,727 [1,083]) (7,947 [1,075]) (7,811 [1,029]) (8,676 [1,006])	250 [55] (250 [73]) (177 [55])	(1 [1])	900 (907) (877) (764) (737) (725)	1,000 (562) (539) (560)	50 (34) (33) (0)	
	診療放射線学部	5,500 [900] (3,048 [676]) (2,941 [665]) (2,784 [647]) (2,767 [640]) (2,132 [392])	60 [25] (68 [22]) (45 [19]) (34 [19])	(4 [4]) (0 [0])	150 (92) (91) (85) (84)	1,000 (530) (509) (460)	50 (49) (0)	
	計	57,500 [5,700] (51,830 [4,390]) (49,975 [4,353]) (48,272 [4,318]) (46,652 [4,218]) (43,173 [3,679])	370 [94] (378 [109]) (355 [106]) (268 [88])	(10 [8]) (2 [1])	1,750 (1,564) (1,520) (1,360) (1,331) (1,315)	3,500 (2,484) (2,383) (2,289)	178 (84) (83) (78)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	850m ²		74 70		70,000 60,000 80,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	803.14m ²		テニスコート 2 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円 528 526 540 533 500	千円 500	図書購入費	千円 4,095 4,322 5,000 7,000	千円 7,000	
	共同研究費等	千円 10,600 9,146 9,000 1,920 15,000	千円 15,000	設備購入費	千円 6,500 10,850 10,790 41,819 25,000	千円 25,000		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		入学金県外282 入学金県内141 授業料536 524千円	536 524 千円	536 524 千円	536 524 千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		群馬県の一般財源を充当する						

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成16年11月30日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成19年4月30日)	<p>【看護学部 看護学科】</p> <p>ファカルティ・デベロップメント（授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究）について、各教員間の共通理解が必ずしも得られていないので、組織的な取り組みとし、一層の推進に努めること</p>	<p>19年3月1日、看護学部全専任教員に対し「授業活動の質向上のための活動に関する調査」のための用紙を配布し、3月12日までに29名が回答。回収率は54.2%であった。看護学部FD委員会でその調査結果が報告され、結果についてのディスカッションを行った。調査結果は、回答したほとんどの教員が、授業課程・授業成果についてなんらかの方法を用いて授業評価を実施していること、学生による授業評価に限らず同僚評価も行われていること、各教員は授業の質を向上させるために多様な方法を用いて努力している実態を示した。今後FDに対する共通理解を深め、授業の質を高めるための活動をさらに推進したい。</p> <p>・19年1月10日看護学部FD委員会</p> <p>個々の教員が実施している教授活動の質を向上させるための取り組みの実態を把握し、今後のFD委員会活動の課題を明らかにするため「教授活動の質向上のための活動に関する実態調査」を行うことを決定</p> <p>・2月21日看護学部教授会</p> <p>看護学部FD委員会から看護学部全教員に対し「教授活動の質向上のための活動に関する実態調査」への協力依頼</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
		<p>・ 3月14日看護学部FD委員会 集計結果が報告され、来年度のFD委員会活動に活かすこと、情報共有のため、看護学部教授会で報告することを決定</p> <p>・ 3月20日看護学部教授会 集計結果を配布、報告した</p> <p>・ 4月4日合同FD委員会 「設置計画履行状況調査結果について（通知）」を配布し、専任教員に改めて授業評価実施を依頼すること、実施された授業評価結果は各学部FD委員会・合同FD委員会に報告し組織的に活用すること、19年度は非常勤講師にも授業評価アンケートを依頼することを決定</p> <p>・ 4月17日看護学部FD委員会 「教授活動の質向上のための活動に関する実態調査」を踏まえ、FDに対する専任教員の共通理解を深めるためのプログラムを検討することを決定</p>	
	<p>専任教員の変更が多数あるので、当初の設置計画の履行に支障が生じないよう専任教員を配置すること</p>	<p>当該学部では、4名の専任教員の変更があった。うち3名は就任前の辞退、1名は都合による退職であった。辞退等が明らかになった際は、速やかに後任教員の補充について検討し、授業に支障がないよう補充計画を作成し、計画通り着任しているため、教育活動に実質的には支障は生じていない。学長から機会があるごとに教員に対して大学設置計画の遵守を求めている。</p>	

7 その他全般的事項

< 看護学部 看護学科 >

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	特になし

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p> 合同FD委員会</p> <p> 看護学部FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p> 4/17(火) 5名 5/8(火) 5名 6/12(火) 5名 7/10(火) 5名 9/5(水) 4名 10/3(水) 5名</p> <p> 11/7(水) 4名 12/5(水) 5名 1/10(木) 5名 2/5(火) 5名 3/11(火) 4名 3/26(水) 4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p> ・平成19年度の活動について ・教員研修会について ・教授活動の質向上に関する実態調査について</p> <p> ・教員向けFD講演会・研修会の企画・評価について ・予算要求について ・今後のFD活動の方向性について</p> <p> ・授業評価について ・教授活動の質向上に向けた授業評価活動支援システム(案)について</p> <p> ・他大学のFD活動・授業評価実施状況報告 その他</p> <p>実施状況 実施されている取組をすべて記載すること</p> <p>a 実施内容</p> <p> ・FD講演会 ・FD研修会 ・学生による授業評価 ・教員による授業参観 ・アフターセッション</p> <p> ・教授活動の質向上に関する実態調査《科目担当教員(専任)対象》 ・学外のFDに関する研修会(フォーラム)参加</p> <p> ・学生による授業評価とその活用状況調査《非常勤職員対象(合同FD委員会)》</p> <p>b 実施方法</p> <p> ・講演会 ・アンケート調査実施 その他</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p> ・学外講師による講演会 2回開催 (9/19 55名出席・3/24 44名出席) 診療放射線学部と共同開催</p> <p> ・学内教員による研修会 1回開催 (20名出席)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p> ・「授業活動の質向上に向けた授業評価活動支援システム」運用に向けた準備作業に取り組んでいる。</p>

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の看護学部、診療放射線学部のカリキュラムは「大学の理念と目標」に示す、「建学の基本理念」「教育理念と目標」「卒業生の特性」から、学部の専門性と独自性を堅持しつつ、両学部が接点を持つ統合カリキュラムにより編成されている。したがって、大学の目的が直接的にカリキュラムを通して学生に伝達されている。また、教育理念、目標等について学生便覧に掲載しオリエンテーションにおいて説明している。したがって、教育研究活動を行うにあたっての基本的な方針や、育成しようとする人材像、大学の目的等が、教育等を通じて教員と学生が相互に確認し合うことが可能となっており、概ね目標を達成できたと考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成20年7月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を400部刊行し、本学全教員、全国看護系・放射系大学、その他関係機関に配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（本年8月末を予定）。18年度自己点検・評価報告書はホームページ掲載済み

認証評価を受ける計画

- ・平成21年度以降に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成20年10月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成20年10月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

< 診療放射線学部 診療放射線学科 >

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	特になし

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (F D 活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p> 合同 F D 委員会</p> <p> 診療放射線学部 F D 委員会</p> <p> 診療放射線学部教育改革ワーキンググループ</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p> 診療放射線学部 F D 委員会 :</p> <p> 6/21(水) 5 名 8/29(水) 5 名 12/19(水) 4 名</p> <p> 診療放射線学部教育改革ワーキンググループ :</p> <p> 5/24(木) 7 名 6/13(水) 7 名 6/26(火) 8 名 7/10(火) 8 名 7/24(火) 8 名 8/29(水) 8 名</p> <p> 9/14(金) 8 名 9/21(金) 8 名 12/19(水) 8 名 1/16(水) 8 名 2/28(木) 8 名 3/24(月) 8 名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p> 診療放射線学部 F D 委員会 :</p> <p> ・ 学生による授業評価について ・ 平成 19 年度の F D 活動について ・ 予算要求について</p> <p> ・ 教員への「学生による授業評価」実施結果調査 (アンケート配布) について</p> <p> 診療放射線学部教育改革ワーキンググループ :</p> <p> ・ カリキュラムの客観的評価法について ・ OSCE (客観的臨床能力試験) の導入について</p> <p> ・ 疑似体験教育システムの拡張・開発について ・ 診療放射線学における予防医学教育の実践について</p> <p> ・ 診療放射線学教育学会の設立について ・ 診療放射線学教育学会学術集会の開催について</p> <p> ・ 文部科学省大学教育改革プログラムについて</p> <p>実施状況 実施されている取組をすべて記載すること</p> <p>a 実施内容</p> <p> ・ 学生による授業評価</p> <p>b 実施方法</p> <p> ・ アンケート調査</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p> ・ 教員の 80% (16 名 / 20 名) が実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p> ・ 教員に対するアンケート調査の結果、78%が「学生による授業評価」は有効と回答。今後の授業の取組手法が具体的に明示された。授業評価を実施しなかった教員に対してはその有効性を説明し、平成20年度からの実施を促す。</p>
--

- a 実施内容
 - ・教員が希望するFDプログラム調査
 - b 実施方法
 - ・アンケート調査
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・アンケート回収率：57%（13名 / 23名（助手含む））
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・アンケート結果から「学生による授業評価と授業改善」「カリキュラムの編成法」に関する研修会の開催を望む声が高かった。「学生による授業評価と授業改善」については平成20年3月に実施（看護学部FD委員会主催）、「カリキュラムの編成法」については平成20年5月に実施する（診療放射線学部FD委員会主催）。
-
- a 実施内容
 - ・大学教育改革プログラム合同フォーラム参加
 - b 実施方法
 - ・FD委員および教育改革ワーキンググループメンバーが協議し分担して様々な分科会を聴講
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・5名の教員が参加
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・平成20年4月にフォーラム参加報告会を実施。文部科学省の推進する大学教育改革プログラムの説明の他、FDの一環として他大学の取組事例を題材にディスカッションした。
-
- a 実施内容
 - ・教育改革案の提示と議論
 - b 実施方法
 - ・教育改革ワーキンググループで様々な教育改革案を作成、その案を教授会に提出して議論
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・全員（教育改革ワーキンググループメンバー8名、教授会メンバー20名（この他助手3名はオブザーバ））
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・教授会で認められた取組案については実施を行うために外部資金獲得に応募。
-
- a 実施内容
 - ・診療放射線学教育学会の設立
 - b 実施方法
 - ・本学部教員が中心となって教育に関する学会を設立
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・本学診療放射線学部長が学会長に就任、役員12名中7名が本学教員。平成19年9月に学術集会を開催した。本学教員の参加率は75%（15名/20名）。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・学術集会では他大学教員によるFDに関する特別講演を実施した他、各大学から13題の発表があり、教育について議論および情報交換を行った。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の看護学部、診療放射線学部のカリキュラムは「大学の理念と目標」に示す、「建学の基本理念」「教育理念と目標」「卒業生の特性」から、学部の専門性と独自性を堅持しつつ、両学部が接点を持つ統合カリキュラムにより編成されている。したがって、大学の目的が直接的にカリキュラムを通して学生に伝達されている。また、教育理念、目標等について学生便覧に掲載しオリエンテーションにおいて説明している。したがって、教育研究活動を行うにあたっての基本的な方針や、育成しようとする人材像、大学の目的等が、教育等を通じて教員と学生が相互に確認し合うことが可能となっており、概ね目標を達成できたと考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成20年7月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を400部刊行し、本学全教員、全国看護系・放射系大学、その他関係機関に配布
- ・大学ホームページ上に公開予定(本年8月末を予定)。18年度自己点検・評価報告書はホームページ掲載済み

認証評価を受ける計画

- ・平成21年度以降に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成20年10月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成20年10月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)